

蚊の発生防止に向けて—ウエストナイル熱対策—

発生状況

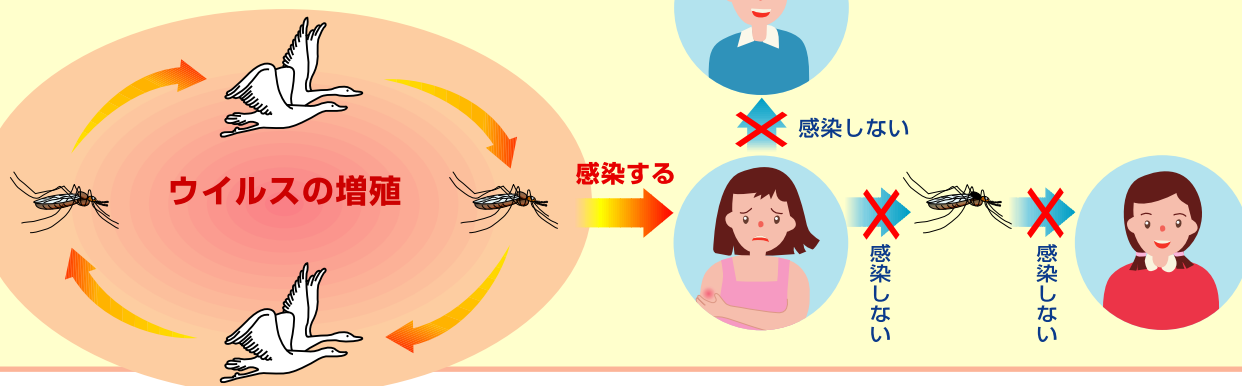
ウエストナイル熱は蚊が媒介します。近年米国やカナダなどでウエストナイル熱が流行していますが、米国における2005年の発生状況は12月6日現在、報告患者数が2775名でその内死亡者は98名です。

(※感染者の20%が発症、その1%が重症化、致死率は重症者の3～15%と報告されています)
ウイルスは渡り鳥や航空機に紛れ込んだ蚊で運ばれるので、いつ日本に上陸してもおかしくない状況です。

感染経路

- 野鳥の体内で増えたウイルスが蚊によってヒトに感染します
- ヒトからヒト、ヒト→蚊→ヒトには感染しません

ウエストナイルウイルスの感染環



対策

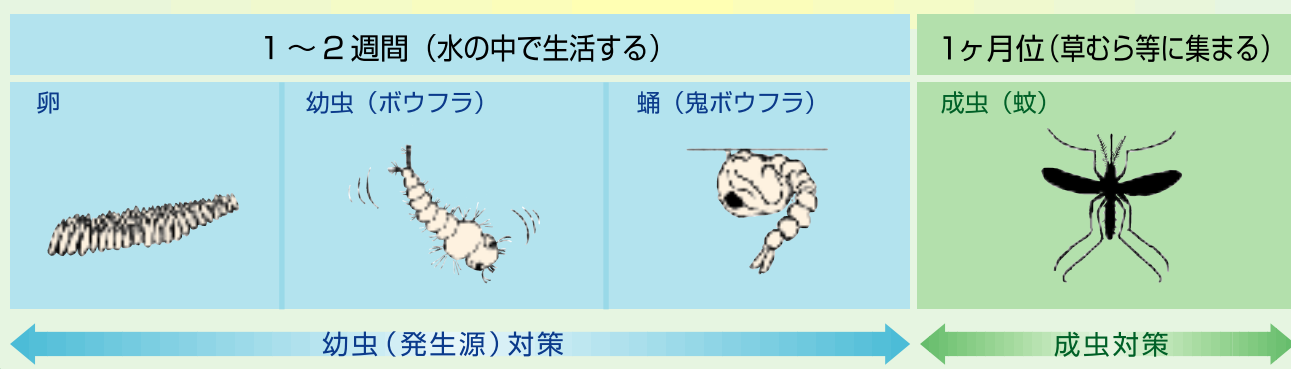
●蚊の発生を防止する

- 幼虫対策・・・水溜りをなくしたり、防虫網を付け産卵・繁殖できないようにする。(第一選択)
殺虫剤を散布する。(第二選択)
- 成虫対策・・・空き地の雑草を刈る。
殺虫剤を散布する。(感染発生時)

●蚊に刺されないようにする

- 窓に網戸をつける。外出時には肌を露出せず、露出部分には忌避剤(使用上の注意を遵守)を塗布する。

蚊の生活史



今できること

ウエストナイル熱は、今のところ確実な治療法がありません。また、ワクチン也没有ないので蚊の防除が唯一の対策になります。我が国への侵入を考え、早い時期から施設周りを観察し、発生源の除去や対策を行いましょう。このことは、日本脳炎の予防にも有効です。

代表的な発生源



● 古タイヤ

タイヤの内側に溜った雨水



● 野外に放置された空き缶等

空き缶に溜まった溜り水



● 放置されたバケツ

放置されたバケツ等に溜った雨水



● 鉢植えの水受け皿

水受け皿に溜まった水



● 墓地の花立て

花立てに溜まった水



▲ヒトスジシマカ



▲アカイエカ



● 排水ます

排水を滞留させる構造になっている



● 敷地内の雨水ます

雨水を滞留させる構造になっている



● ビル内の排水槽

常に排水が溜っている

発生源対策

- 古タイヤ、空き缶、空きびん、バケツ等を撤去する。
- 花立てや植木鉢の水受け皿の水は1週間に1回捨てる。
- 殺虫粒剤（ウジ・ボウフラ用）を1ヶ月に1回散布する。防虫網を掛ける。
- 排水槽のマンホール付近に蒸散剤のプレートを吊るす。通気管に防虫網を掛ける。